

令和 7 年 8 月 5 日

各 委 員 様

日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議
事務局 淡窓図書館

「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」における
最終報告書（案）の送付について

晩夏の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、上記の件については、第 5 回会議での意見を踏まえ第 5 回議案の加筆修正を行った最終報告書<案>を送付いたします。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、ご一読のうえ、意見のある方は■<意見書>に記入のうえ、8月20日（水）までにご返送（郵送、持参、FAX、eメールのいずれか）いただきますようお願い申し上げます。

なお、意見書の内容を考慮したうえで修正したものを報告書の完成版とさせていただきます、皆様に後日送付いたします。

【送付するもの】

■<意見書>

■最終報告書（案）

別紙 1 - 目次、はじめに

別紙 2 - 1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

(1) 基本理念

(2) 基本理念につながる 5 つの柱

■参 考 第 5 回会議議事録の概要・要点

【提出先】

〒877-0003 日田市上城内町 1-72

日田市立淡窓図書館 川邊、結城

電話 0973-22-2497

FAX 0973-26-3210

eメール tansou@city.hita.lg.jp

目次、はじめに

別紙 I

最終報告書(案) ※朱書きは第5回の修正・削除	変更後(第5回)
<p>目次</p> <p>はじめに</p> <p>1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像</p> <p>(1) 基本理念</p> <p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>2. 会議の経過</p> <p>3. 資料編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議設置要綱 ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議委員名簿 ・子どもアンケート集計結果 ・会議資料及び議事録 	<p>目次</p> <p>はじめに</p> <p>1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像</p> <p>(1) 基本理念</p> <p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>2. 会議の経過</p> <p>第1回 令和6年7月18日(木)</p> <p>第2回 令和6年10月24日(木)</p> <p>令和7年1月30日(木)「先進地視察」</p> <p>第3回 令和7年2月6日(木)</p> <p>第4回 令和7年3月28日「書面開催」</p> <p>第5回 令和7年5月15日(木)</p> <p>3. 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議設置要綱 ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議委員名簿 ・子どもアンケート集計結果 ・会議資料及び議事録 <p>既存資料を添付します</p>

最終報告書(案) ※朱書きは第5回の修正・削除		変更後(第5回)
<p>はじめに</p> <p><u>日田市立淡窓図書館は築後 36 年が経過し、施設・設備が老朽化していることに加え、サービスの対象となる地域も平成17年3月の市町村合併により広がっています。また、このような中、従来とは異なった機能を持つ図書館が全国各地にできており、これらを参考に、日田市の図書館サービスを近年の多様化する市民ニーズにあったものにする必要があります。</u></p> <p>日田市教育大綱は「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」を基本理念としています。また、第6次日田市総合計画第3期基本計画の教育・文化(3)生涯学習の充実の中の図書館では「図書館利用者に対するレファレンスサービスの向上に努めるとともに、新たな役割や機能をより一層充実させるため、図書館の在り方を見直し、今後の方向性について検討を行います」を基本方針としています。</p> <p>そこで、令和 6 年 4 月、公募市民を含め学識経験者、福祉関係、教育関係、オプザーバー等 15 人の委員からなる「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」(以降、「市民検討会議」という)を設置し、図書館の現状と課題、どのような図書館であるべきか議論を重ね、先進地視察や子どもアンケートを実施しながら、今後の在り方について検討してまいりました。</p> <p>「市民検討会議」で出された多くの貴重な意見をもとに、日田市のまちづくりにつなげるため日田市立淡窓図書館が「目指す図書館像」を掲げ、報告書としてまとめました。</p> <p>本報告書を今後の図書館サービスの改善に役立ててもらおうとともに、「目指す図書館像」の実現に向けて、積極的に取り組んでいただくことを期待します。</p> <p style="text-align: right;">令和 7 年 月 日 日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議</p>	<p>はじめに</p> <p>淡窓図書館は築後 36 年が経過し、施設・設備が老朽化していることに加え、近年の市民ニーズの多様化により、従来の図書館とは異なった多様な機能を持つ図書館が全国各地にできていることから、日田市の図書館サービスをより市民ニーズにあったものにする必要があります。</p> <p>日田市教育大綱は「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」を基本理念としています。また、第6次日田市総合計画第3期基本計画の教育・文化(3)生涯学習の充実の中の図書館では「図書館利用者に対するレファレンスサービスの向上に努めるとともに、新たな役割や機能をより一層充実させるため、図書館の在り方を見直し、今後の方向性について検討を行います」を基本方針としています。</p> <p>そこで、令和 6 年 4 月、公募市民を含め学識経験者、福祉関係、教育関係、オプザーバー等 15 人の委員からなる「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」(以降、「市民検討会議」という)を設置し、図書館の現状と課題、どのような図書館であるべきか議論を重ね、先進地視察や子どもアンケートを実施しながら、今後の在り方について検討してまいりました。</p> <p>「市民検討会議」で出された多くの貴重な意見をもとに、日田市のまちづくりにつなげるため日田市立淡窓図書館が「目指す図書館像」を掲げ、報告書としてまとめました。</p> <p>本報告書を今後の図書館サービスの改善に役立ててもらおうとともに、「目指す図書館像」の実現に向けて、積極的に取り組んでいただくことを期待します。</p> <p style="text-align: right;">令和 7 年 月 日 日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議</p>	

最終報告書（案） ※朱書きは第5回の修正・削除	変更後（第5回）
<p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>(1) 基本理念を実現するため、次の5つの柱を日田市立淡窓図書館が目指す図書館像の方向性としてします。</p> <p>I 子どもたちの学びを深め、豊かな心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で気軽に来られる環境（声を出せる部屋など）づくり ○ 読書以外の興味を引き出すイベント（映画放映など）の実施 ○ 楽しめる場所（フリースペース、マンガの閲覧、ボードゲームなど）づくり ○ <u>関係機関と連携した学習活動の支援（団体貸出、学びにつながるイベントなど）</u> <p>II 誰もが利用しやすい、行きたくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイレント部屋の設置や館内に音楽（BGM）が流れる環境づくり ○ 読書や勉強に適した一人用デスクスペース（窓際）などの整備 ○ <u>くつろげる場所（日田杉のベンチ）や飲食スペースなど、人が集まる場づくり</u> ○ 会話ができる学習スペース、グループ会議室などの整備 ○ <u>アウトリーチサービス（利用困難者などに対する活動）の展開</u> <p>III 郷土の歴史と文化の学びを支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日田市特有の歴史・文化・芸術等郷土資料の収集・保存と活用 ○ 郷土資料等のデジタルアーカイブの構築 <p>IV 地域との連携や住民の交流を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料の貸出・返却可能な分散拠点（公民館など）の拡大 ○ <u>企業やまちづくり・民間団体と連携したイベントなど、来館のきっかけ、仕組みづくり</u> ○ 地域全体で図書館の活用（作品の発表の場、地域移動支援との連携など）を推進 <p>V 情報発信の強化とデジタル化を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNS等、様々な広報手段を活用した図書館の情報発信を強化 ○ ICタグの設置や自動貸出機など、館内設備のデジタル化 ○ インターネットに対応した電子書籍やオーディオブックの導入 	<p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>(1) 基本理念を実現するため、次の5つの柱を日田市立淡窓図書館が目指す図書館像の方向性としてします。</p> <p>I 子どもたちの学びや好奇心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で気軽に来られる環境（声を出せる部屋など）づくり ○ 読書以外の興味を引き出すイベント（映画放映など）の実施 ○ 楽しめる場所（フリースペース、マンガの閲覧、ボードゲームなど）づくり <p>II 誰もが利用しやすい、行きたくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイレント部屋の設置や館内に音楽（BGM）が流れる環境づくり ○ 読書や勉強に適した一人用デスクスペース（窓際）などの整備 ○ 日田杉を使ったベンチやくつろげるスペースなど、人が集まる場づくり ○ おしゃべりができる学習スペース、グループ会議室などの整備 <p>III 郷土の歴史と文化の学びを支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日田市特有の歴史・文化・芸術等郷土資料の収集・保存と活用 ○ 郷土資料等のデジタルアーカイブの構築 <p>IV 地域との連携や住民の交流を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料の貸出・返却可能な分散拠点（公民館など）の拡大 ○ アウトリーチサービス（利用困難者などに対する活動）の展開 ○ まちづくり等の分野や他のイベントと連携した、来館のきっかけ、仕組みづくり ○ 地域全体で図書館を活用（作品の展示、発表の場づくりなど） <p>V 情報発信の強化とデジタル化を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNS等、様々な広報手段を活用した図書館の情報発信を強化 ○ ICタグの設置や自動貸出機など、館内設備のデジタル化 ○ インターネットに対応した電子書籍やオーディオブックの導入

1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

最終報告書（案） ※朱書きは第5回の修正・削除	変更後（第5回）
<p>(1) 基本理念</p> <p>日田市立淡窓図書館は、地域住民のための施設として、多様な資料を収集し、図書の貸出をはじめとする様々なサービスを提供することで、地域社会に貢献してきました。</p> <p>しかし、社会の変化に伴い、図書館には従来の本を借りる、静かに過ごす、調べものをするという役割に加えて、「友達と話し合いながら学べる」「活動成果を展示したり作品を展示できる」「子どもたちが安心して過ごせる」「自宅にいなながら情報にアクセスできる」といった、住民の多様なニーズに応えることが求められています。</p> <p>そこで、これからの淡窓図書館はどんな図書館だったらいいいのか、従来とは違う今後の図書館の在り方について、「市民検討会議」で議論したり、<u>小学生・中学生を対象に「子どもアンケート調査」を実施して意見や要望を募りました。それらの中で導き出された図書館のあるべき姿は、以下のとおり、5つにまとめられます。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもたちの学びを<u>深め、豊かな心</u>を育む 2. 誰か利用しやすく、行きたくない 3. 郷土の歴史と文化の学びを支える 4. 地域との連携や住民の交流を促進する 5. 情報発信の強化とデジタル化を推進する <p>これらの市民の声と未来への展望を踏まえ、<u>淡窓図書館では、すべての市民が図書館の持つ情報や多様な機能、そして心温まるサービスを享受できるようにするとともに、地域活動と学びを支え、さらには地域の魅力と情報発信の魅力を発信する拠点となることを目指し、以下の基本理念を掲げます。</u></p> <p>『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」の拠点』</p> <p>なお、前述の1.から5.の内容は、基本理念につながる5つの柱（取り組むべき方向性）として、次頁以降に提案します。</p>	<p>(1) 基本理念</p> <p>日田市立淡窓図書館は、地域住民のための施設として、多様な資料を収集し、図書の貸出をはじめとする様々なサービスを提供することで、地域社会に貢献してきました。</p> <p>しかし、社会の変化に伴い、図書館には従来の本を借りる、静かに過ごす、調べものをするという役割に加えて、「友達と話し合いながら学べる」「活動成果を展示したり作品を展示できる」「子どもたちが安心して過ごせる」「自宅にいなながら情報にアクセスできる」といった、住民の多様なニーズに応えることが求められています。</p> <p>そこで、これからの淡窓図書館はどんな図書館だったらいいいのか、従来とは違う今後の図書館の在り方について、「市民検討会議」で出された主な意見や「子どもアンケート調査」の小学生・中学生の意見・要望から導き出された図書館のあるべき姿は、以下のとおり、5つにまとめられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもたちの学びや好奇心を育む 2. 誰もが利用しやすく、行きたくない 3. 郷土の歴史と文化の学びを支える 4. 地域との連携や住民の交流を促進する 5. 情報発信の強化とデジタル化を推進する <p>これらの市民の声と未来への展望を踏まえ、日田市立淡窓図書館は、すべての市民が図書館の持つ情報や多様な機能、そして心温まるサービスを楽しむ、地域活動と学びを支え、さらには地域の魅力と情報発信する拠点となることを目指し、以下の基本理念を掲げます。</p> <p>『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」※の拠点』</p> <p>なお、前述の1.から5.の内容は、基本理念につながる5つの柱（取り組むべき方向性）として、次頁以降に提案します。</p> <p>※「人づくり」とは、図書館には、人の成長を促し、人が成長するための環境（図書等）が整っている必要があることに加え、以下の4つの人を大切にし育む重要な役割があることを意味します。</p> <p>①日田市に愛着を持って住み続けてくれる人 ②市外に住むようになっても日田市を応援してくれる人 ③日田市の歴史や文化を後世に残してくれる人 ④日田市のまちづくりに様々な形で携わってくれる人</p>

第5回会議議事録の概要・要点

- ・ 日時：2025年5月15日 14:09～15:55
- ・ 場所：淡窓図書館 2階研修室
- ・ 出席者：13名（欠席2名）

◆全ての委員の意見内容まとめ

以下に議事録の中で述べられた全ての委員の意見を簡潔にまとめます。

●委員

- ・ 表現が「日田市民」限定の印象で、もっと広域の人も対象にすべき。
- ・ 「おしゃべり」→「話し合い」などの表現への変更を提案。
- ・ 図書館の老朽化・不衛生さ（虫やザラザラ感）を指摘。
- ・ 障害者用トイレのスペース・機能改善を提案。
- ・ 怪談話（郷土の話）などを通じた子供の好奇心の喚起を提案。
- ・ 飲食を取れるスペースの整備を希望。

●委員

- ・ 理念として第2案「人づくりを支える」よりも第1案「市民に親しまれる拠点」が一般的に伝わりやすいのではないか。
2案をまとめる必要もないのではないかという提案があったが、「案はどちらでもいい」、具体的な5つの柱の議論を優先すべき。
- ・ 「子供の好奇心」などをもっと柔らかい表現にしてはどうか。
- ・ 郷土に関するクイズ大会等やって、学びにつながるイベント案を提案。
- ・ 利用者の動機づけが5つの柱の中に含まれているのか。
- ・ 企業・団体の研修利用（2階研修室）
- ・ 公民館の分館機能設置などの地域連携案を提案。

●委員

- ・ なぜこの会議が設置されたのか、来ている目的を各委員に確認。
- ・ 一般市民としての立場で発言。

●副委員長

- ・ 図書館は人づくりの拠点という立場だが、市民目線ではなく業界目線であることを自覚。
- ・ 「市民の支えとなる拠点」に「人づくり」を含める表現を検討すべき。
- ・ 「おしゃべりできる」は「会話ができる」など柔らかい表現に変更提案。
- ・ 他館の事例（福地町ではパン屋があり、那珂川市では高校生などに特化したスペース）の紹介。
- ・ 学校で揃えられない資料、バリアフリー、大活字本・触れる絵本・オーディオ資料の整備を提案。
- ・ 企業・民間団体と連携したイベント実施を提案。

●委員

- ・理念や文言に対して「市民には難解である」、利用者目線の表現を希望。
5つの柱については、わかりやすい。
- ・明るくて利用しやすい、子どもたちを連れて行きたくなる図書館を希望して参加。
- ・遠隔地からは公共交通の不便さから、利用が難しいと実体験を発表。ゆえに今後は、足を運べるようになることを希望。
- ・竹田市図書館の事例（高校生の利用が多い、飲食スペースあり）を紹介。

●委員

- ・図書館整備にあたっては利用者の意見を聞く必要がある。
- ・理念や文言の整理は行政側の仕事、市民の皆様は率直な意見をいただきたい。

●委員

- ・案1・案2を統合した案でもよいと思う。市民に親しまれる施設であることが一番大事。
学びとまちづくりは人だから、人づくりを支える施設でよいと思う。
- ・図書館予約の利便性（例：筑後図書館のカウンターで即時貸出）の提案。
- ・Wi-Fi やフリースペース整備の推進。
- ・図書館本の公民館への巡回貸出と公民館への貸出（配送業者による）の併用を希望。

●委員

- ・図書館のニーズはアンケートで多い「リラックス」「学習スペース」など、施設整備の段階で入れることを希望。
- ・理念の人づくりは、人づくりに取り組まれてきた廣瀬淡窓の淡窓の冠名が日田市の図書館についている以上、後世に残す意味ではメッセージ性があると思う。
- ・高校生や働く保護者向けに「夜間利用」など時間外対応を提案。
- ・地域や公民館での図書貸出サービスは、公平にやるよりも「やりたいと希望する」地域から取り組む仕組みを希望。

●委員

- ・5つの柱で「誰もが利用しやすい」の文言と内容に乖離があり、障害者・高齢者の合理的配慮が足りない。
- ・確かなニーズ（必ず買い物をするなど）のある高齢者や移動手段が無い人に対するアウトリーチサービス（お店や事業所側からの送迎など）を提案。
- ・地域の「集まりの場」などに対するアウトリーチサービス（図書館からの貸出サービスなど）を提案。

●委員

- ・5つの柱の「子どもたちの学びや好奇心を育む」の中で、学びに関する記述を足すことを希望。
- ・高校生の利用実態（飲食可能なアオーゼに行く理由）を踏まえ、飲食可能なスペースの記述を希望。

●委員

- ・ 小学校の巡回図書の制度を地域の公民館と連携して活用すべきことを提案（委員と類似意見）。
- ・ 図書館の閉架にある本を巡回図書で貸出していくことを提案。

●委員長

1. 基本理念（案1・案2）に関する議論の促進

- ・ 基本理念および「目指す図書館像」の変更案（案1と案2の合体）が議論の焦点と説明。
- ・ 「市民に親しまれ～人づくりの拠点」という合体案が根幹であると強調。
- ・ 「人づくり」「市民」という文言の意味や適切さについて、委員の意見を求めた。
- ・ 案1（親しまれ、支えとなる）と案2（人づくりを支える）のどちらが適切か、再検討を促す。
- ・ 文言の取扱いは事務局に一任してもよいかどうかを委員に確認。

2. 「人づくり」の扱いに関する掘り下げ

- ・ 人づくりを理念に盛り込むべきかを問いかけ。
- ・ 文言の選定は市民の共感を得られるものにする必要性を強調。
- ・ どちらの案が「利用者に響くか」という観点での意見を求めた。

3. 意見集約と進行整理

- ・ 多くの委員が文言に強いこだわりを持たず事務局案を容認する様子を受け、確認を行った。
- ・ 議決は行わないが、事務局案に進むことについて委員の賛同を再度確認。
- ・ 基本理念は「一任で修正の可能性を含みつつ」事務局案で進めることを確認。

4. 5つの柱（基本理念の具体化）に関する議論

- ・ 「1～5の柱」について、利用者目線での表現が適切か意見を促す。
- ・ 特に「足りない部分」がある場合は遠慮なく意見を出してほしいと説明。
- ・ 「誰もが利用しやすい」という表現は、遠隔地や障害者へいろんな配慮、設備や機能で補うことが必要。
- ・ アウトリーチサービスは、ⅣよりもⅡの柱に該当するのではないかと指摘。

5. 運営体制・施設機能について

- ・ 開館時間や利便性についての検討は重要であると明言。
- ・ 利用者目線をどこまで柱に盛り込むかが大事な論点と指摘。
- ・ 企業・地域との連携、図書館を住民が支える仕組みづくり、賛同者を増やすことなどが必要。

6. 飲食・会話・気軽さに関する意見

- ・ アオーゼの「気軽に学べる」コンセプトを紹介し、図書館も敷居を下げる必要があると述べた。
- ・ 特に若年層に響くような施設イメージを目指すべきとの私見を述べた。

7. 地域・学校・文化との連携

- ・ 「淡窓」の冠名を後世に残す意味で理念の「人づくり」の意義があることや郷土の歴史を学ぶ観点は重要。

- ・図書館と学校・公民館・博物館などとの連携は必要不可欠と考える。
- ・今後、デジタルアーカイブの推進と地域の課題解決支援サービスが図書館に求められている。。

8. 総括・今後の進行

- ・「事務局案に賛同し、多少の文言変更は一任」として合意を得る。
- ・5つの柱についての意見も事務局がまとめ、最終的に本会議報告書に向けた取りまとめに移行する意向を表明。後日メールや郵送で報告書を送付し、共有予定と確認。

■事務局

- ・公民館への遠隔地貸出事業を遠隔地10地区公民館から20地区（市内全域）へ拡大する意向
- ・今回の会議での意見をもとに報告書を再修正し、委員の皆様配布することを説明
- ・報告書は教育委員会に先に報告した後に市長へ報告する。日時は後日、委員の皆様にお知らせし、同席の意向を伺う。
- ・今後、この市民検討会議の報告書における「目指す図書館像」の実現に向けて、実行計画、改修計画を立て、それに沿って取組を進めていきたいと考えている。

最終報告書(案)に対する■意見書について

	■意見	回答
委員	基本理念の朱字の部分で「議論したり、」とあるので、「～たり、～たりする」の用法からすれば、「実施したりして意見や…」とした方がいいかもしれません。	基本理念の説明の中で文章修正の指摘(～したり、～したりと重ねるのが正しい文章表現)であったため、文章校正を行い修正しました。
委員	意見 『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」の拠点』について 日田市が輩出してきた廣瀬淡窓、井上準之助、大蔵永常など「日本を代表する人づくり」とするメッセージが届くか？ 是非届いて欲しい。淡窓図書館から次世代への人材育成のメッセージとして。 案； 「人づくり」：日田市が輩出してきた廣瀬淡窓、井上準之助、大蔵永常など「日本を代表する人づくり」を目指す などの説明文を追加する。	第5回の会議資料には「人づくり」についての具体的な解説を下段に掲載しておりましたが、報告書には「人づくり」についての具体的な解説は掲載しないと回答しましたので、加筆修正はしないこととしました。